

ふうせん君

花盛り

75号

抗酸化工法を
あそび隊
ニュース

入浴剤使ってみました!

おはようございます。さんらいす、K・Mです。先日は遠いところセミナーにお越しいただき、ありがとうございます。短い時間でしたが会田さんのお話を聞いていて色々なことを試してみよう!遊んでみよう!という、会田さんが日頃おっしゃっていること。抗酸化の原点に戻った気がして改めて自分に叩きこみました。セミナーで会田さんが作ってくださった米ぬかとフコイダン発酵エキスの「入浴剤」を家族で試してみましたので報告させていただきます。使っ前はたかが入浴剤で変化ないだろう。と思っていたので、体験談は送らなくてもいいかなって思っていたんですが、自分の変化、家族の変化を見ているとやっぱり送らなくっちゃ!って考えが変わりました(笑)また会田さんに「全然信じてないんだから!」っていわれちゃいますね。日頃入浴剤としてえみな premium をいれています。今日は premium を入れないで入浴剤だけ。いつもと

同じように入浴しました。特に長い時間入浴したわけではないのに何年振りか、私はのぼせてしまいました。自分でものぼせたことにびっくりです。正直「こんなんでのぼせちゃうの!?!」って感じですよ。手足の冷え性、末端冷え性を抱えていますが、末端に限って「あったかいぞ」とたしかに感じるポカポカさ。「あれ?ホットカーペットに入れてる?」って聞いてしまくらいい足がポカポカ。キーボードを打つ指先がポカポカ。入浴剤を顔にポンポン。お風呂上りは「光のしずく」を使っていきますがしっとりして今日は必要なかったんです。肩こり部分にポンポン。なんとなくポカポカ???パパも暖房つけていないのに「暖房消して」って。んーこれって気のせい!?!? 4歳の娘と9ヶ月の息子も同じように入浴しました。二人とも冬場から乾燥肌が続き premium が入った入浴でもカサカサする部分がありました。お風呂上りの「みじよか」は欠かせなかったのですが、気のせいかな、全身しっとり。

結局「みじよか」なしでお風呂上りに体をかいてしまつことが今日はありませんでした。娘は入浴剤を顔にポンポンしながら「美人になれ」と呪文を唱えていました。「会田のおじちゃんはずい魔法使いだね。今度また会えたら、私お礼をいわなくっちゃ」と、いっています。残り湯はお庭のお花たちにもあげました。植物たちも元氣になればいいですね。ありがとうございます。さんらいす K・M 様

ミトコンドリア育成会

今年の3月1日に「抗酸化溶液で世界は変わる」のタイトルで本が出版されました。その第1章の71ページの中ほどにかかれていますが、米ぬかを使った入浴剤のことを紹介していますが、とても感動する事例です。読んでいただければ、喜びや感動が伝わってくるはずですよ。ぜひ読んでみてください。この入浴剤を作るきっかけはテレビを見ていたとき、たまたま京都の舞妓さんがインタビューを受けており「あなたは日常どのような手入れをして

いるのですか」との問いかけに「米ぬかで肌を磨いています。」のようなお答えだったような気がします。相当古い記憶です。で定かではありませんが、そのことで抗酸化で発酵させたらどのようなものか、ちょっと作ってみようかなと思いいっぱい飲み物とぬかを耳たぶくらいの柔らかさに練り、もう一度ペーブルで2次発酵させてゴルフボールくらいの大きさをさらしかガーンに包みお風呂でモミモミするもの。その結果は本に書いています。読んでみてください。さらにK・M様は新抗酸化溶液で出来たミトコンドリア共振セラミクスで製造したフコイダン・黒酵母発酵エキス(モリンガ入り)のエキスで2次発酵させたもので入浴したのですから、当然感動の結果だろうなと想像は出来ました。3月29日のセミナーの時、もう一つミトコンドリア共振紙の作り方も実演しました。これを機会に(仮称)ミトコンドリア育成会を立ち上げてみませんか、提案したところ参加者からは是非立ち上げてくださると賛同を得ました。